

# 平成23年度決算に関する説明資料

- 1 各種会計歳入歳出決算総括表 (P1)
- 2 各種会計歳入決算前年度比較表 (P2)
- 3 各種会計歳出決算前年度比較表 (P3)
- 4 一般会計歳入決算前年度比較表 (P4)
- 5 一般会計歳出決算前年度比較表 (P5)
- 6 一般会計性質別歳出決算前年度比較表 (P6)
- 7 市税決算前年度比較表 (P7)
- 8 東日本大震災に係る災害復旧費等の決算状況 (P8)
- 9 都市計画税充当説明資料 (P10)
- 10 各種基金の状況 (P11)
- 11 各種会計地方債の状況 (P12)
- 12 健全化判断比率及び資金不足比率 (P13)
- 13 健全化判断比率及び資金不足比率に関する会計区分等 (P17)
- 14 普通会計決算状況分析主要指標 (P18)

(参考) 普通会計決算状況分析主要指標の見方



# 平成23年度各種会計歳入歳出決算総括表

(単位：円)

会計区分	予算現額 (A)	決算額			備考	予算現額と決算額との比較	
		歳入 (B)	歳出 (C)	差引残額 (B-C)		歳入 (B-A)	歳出 (A-C)
一般会計	15,582,685,817	14,445,573,536	13,657,302,399	788,271,137	繰越明許費繰越財源 367,123,637 事故繰越し繰越財源 19,404,274 翌年度繰越額 200,000,000 財政調整基金繰入額 201,743,226	▲1,137,112,281	1,925,383,418
国民健康保険事業	3,451,418,000	3,497,594,126	3,288,302,699	209,291,427	翌年度繰越額 104,640,000 国民健康保険財政調整基金繰入額 104,651,427	46,176,126	163,115,301
後期高齢者医療	298,959,000	260,890,249	260,474,349	415,900	翌年度繰越額 415,900	▲38,068,751	38,484,651
介護保険	2,574,077,000	2,539,878,273	2,515,591,979	24,286,294	事故繰越し繰越財源 2,153,000 翌年度繰越額 15,931,148 介護保険事業財政調整基金繰入額 6,202,146	▲34,198,727	58,485,021
公共下水道事業	2,888,199,500	2,271,960,733	2,049,173,026	222,787,707	繰越明許費繰越財源 222,614,167 翌年度繰越額 173,540	▲616,238,767	839,026,474
農業集落排水事業	201,625,000	162,610,089	146,234,889	16,375,200	繰越明許費繰越財源 16,375,200	▲39,014,911	55,390,111
東根財産区	16,550,000	15,972,339	15,771,339	201,000	東根財産区財産造成基金繰入額 201,000	▲577,661	778,661
計	9,430,828,500	8,748,905,809	8,275,548,281	473,357,528		▲681,922,691	1,155,280,219
合計	25,013,514,317	23,194,479,345	21,932,850,680	1,261,628,665		▲1,819,034,972	3,080,663,637

企業会計	水道事業	区分	予算現額	決算額	決算額の比較 (A-B)	備考
収益的	水道事業	税込	917,796,000	900,172,617	▲16,859,916	税抜き 収入額 859,430,128 円 支出額 886,882,658 円 収入支出差引 ▲27,452,530 円
			1,068,560,000	917,032,533		
資本的	水道事業	資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額364,807,519円は、当該年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額10,508,030円、減価積立金1,700,000円、及び過年度分損益勘定留保資金352,599,489円で補填。	32,238,000	28,573,000	▲364,807,519	
			469,916,000	393,380,519		

平成23年度各種會計歲入決算前年度比較表

歳入 (単位:千円、%)

會計区分	平成23年度		平成22年度		比較		摘要
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	
一般會計	14,445,573	59.9	12,633,722	59.9	1,811,851	14.3	地方交付税+1,036,881(普通交付税+77,788、特別交付税(通常分)+144,357、《震災復興分》+814,756)、公共土木施設災害復旧費負担金+317,647、財政調整基金繰入金+200,000、東日本大震災復興基金交付金+132,486
国民健康保険事業	3,497,595	14.5	3,370,650	16.0	126,945	3.8	療養給付費交付金+91,256、災害臨時特例補助金+15,526、療養給付費等負担金+5,029
後期高齢者医療	260,890	1.1	258,717	1.2	2,173	0.8	一般会計繰入金+3,114、繰越金+3,394、後期高齢者医療保険料▲4,281
介護保険	2,539,878	10.5	2,472,855	11.7	67,023	2.7	介護給付費負担金+37,731、介護給付費交付金+36,413
公共下水道事業	2,271,961	9.4	1,287,859	6.1	984,102	76.4	公共土木施設災害復旧費負担金+643,477、一般会計繰入金+423,193、下水道使用料▲70,314、借換債+27,700
農業集落排水事業	162,610	0.7	100,400	0.5	62,210	62.0	一般会計繰入金+69,239、農業集落排水施設災害復旧費補助金+26,364、農業集落排水整備推進交付金▲28,600
東根財産区	15,972	0.1	1,123	0.0	14,849	1322.3	物品売却収入+15,951、財産造成基金繰入金▲1,100
老人保健	-	-	7,038	0.0	▲7,038	皆減	
地方卸売市場事業	-	-	821	0.0	▲821	皆減	
計	8,748,906	36.3	7,499,463	35.5	1,249,443	16.7	
企業會計	收益的收入	3.7	952,305	4.5	▲52,132	▲5.5	水道料金▲84,219、一般会計災害復旧費補助金+22,263、災害復旧費国庫補助金+9,889
	資本的收入	0.1	28,573	0.1	▲2,959	▲9.4	水道加入金▲3,150
計	928,746	3.8	983,837	4.6	▲55,091	▲5.6	
合計	24,123,225	100.0	21,117,022	100.0	3,006,203	14.2	

# 平成23年度 各種會計歲出決算前年度比較表

(單位:千円、%)

歲出	會計区分	平成23年度		平成22年度		比較		摘要	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	增減率		
一般會計	國民健康保險事業	13,657,302	58.8	11,919,845	58.4	1,737,457	14.6	災害復旧費+851,799、下水道特別會計繰出金+423,193、災害救助費+71,802、仙南広域組合負担金+69,960、廣域特別會計繰出金+69,239、放射線対策事業+11,974	
	後期高齢者医療	3,288,303	14.2	3,263,467	16.0	24,836	0.8	後期高齢者支援金+57,812、介護納付金+20,698、諸支出金+12,920、保険給付費▲38,700、共同事業拠出金▲24,612	
	介護保険	260,474	1.1	254,507	1.2	5,967	2.3	後期高齢者医療広域連合納付金+5,891	
	公共下水道事業	2,515,592	10.8	2,471,967	12.1	43,625	1.8	保険給付費(居宅介護サービス等給付費等)+59,027	
	農業集落排水事業	2,049,173	8.8	1,285,806	6.3	763,367	59.4	災害復旧費+859,563、繰上償還元金+27,987、汚水管渠工事費▲46,341、舗装復旧工事費▲21,999、公債費利子▲8,964、	
	東根財産区	146,235	0.6	100,367	0.5	45,868	45.7	災害復旧費+49,339 処理場事業機械設備改修工事費▲2,689	
	老人保健	15,771	0.1	1,123	0.0	14,648	1304.4	木材搬出加工等業務委託料+10,788 財政造成基金積立金+4,865	
	地方卸売市場事業	—	—	7,038	0.0	▲7,038	皆減		
	計	8,275,548	35.6	7,385,096	36.1	890,452	12.1		
	企業會計	收益の支出	917,033	3.9	917,071	4.5	▲38	0.0	災害復旧費(特別損失)+36,927、受水費▲14,952、修繕費▲6,833、企業債利子▲3,056
		資本の支出	393,381	1.7	212,797	1.0	180,584	84.9	中央監視装置棟建築工事費+69,300 中央監視装置改修工事費+120,750
		計	1,310,414	5.6	1,129,868	5.5	180,546	16.0	
	合計	23,243,264	100.0	20,434,809	100.0	2,808,455	13.7		

# 平成23年度 一般会計歳入決算前年度比較表

(単位:千円、%)

歳入区	分	平成23年度		平成22年度		比較		摘要
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	
◎ 1 市	税	3,296,932	22.9	3,337,567	26.5	▲ 40,635	▲ 1.2	個人市民税▲37,159、法人市民税▲37,379、固定資産税▲11,569、市たばこ税+43,855
2 地	方譲与税	211,077	1.5	216,708	1.7	▲ 5,631	▲ 2.6	地方譲与税▲5,072
3 利	子割交付金	7,105	0.0	9,691	0.1	▲ 2,586	▲ 26.7	
4 配	当割交付金	3,624	0.0	3,595	0.0	29	0.8	
5 株	式等譲渡所得割交付金	816	0.0	1,143	0.0	▲ 327	▲ 28.6	
6 地	方消費税交付金	319,384	2.2	333,304	2.6	▲ 13,920	▲ 4.2	
7 ゴ	ルフ場利用税交付金	2,753	0.0	4,572	0.0	▲ 1,819	▲ 39.8	
8 自	動車取得税交付金	48,862	0.3	55,413	0.4	▲ 6,551	▲ 11.8	
9 国	有提供施設等所在市町村助成交付金	10,146	0.1	11,272	0.1	▲ 1,126	▲ 10.0	
10 地	方特例交付金	49,574	0.3	57,917	0.5	▲ 8,343	▲ 14.4	児童手当及び子ども手当特別交付金▲9,533 減収補填特別交付金+1,190
11 地	方交付税	5,135,070	35.6	4,098,189	32.4	1,036,881	25.3	普通交付税+77,768、特別交付税(通常分)+144,357 (震災分)+814,756、
12 交	通安全対策特別交付金	5,079	0.1	5,036	0.1	43	0.9	
◎ 13 分	担金及び負担金	94,874	0.7	91,594	0.7	3,280	3.6	保育所運営費一部負担金+1,966
◎ 14 使	用料及び手数料	175,458	1.2	191,595	1.5	▲ 16,137	▲ 8.4	市民ゴルフ場使用料▲9,715、スポーツセンター使用料▲1,040 1,262、市民センター使用料▲1,040
15 国	庫支税金	1,630,757	11.3	1,666,624	13.2	▲ 35,867	▲ 2.2	公共土木施設災害復旧費負担金+317,647 公共投資臨時交付金▲338,496
16 県	支税金	925,674	6.4	662,491	5.2	263,183	39.7	東日本大震災復興基金交付金+132,486 災害救助費委託金+71,703
◎ 17 財	産収入	32,563	0.2	24,823	0.2	7,740	31.2	土地売却収入+12,271、たい肥売却収入▲4,235
◎ 18 寄	附金	34,798	0.2	7,356	0.1	27,442	373.1	災害復興費寄附金+23,546
◎ 19 繰	入金	252,096	1.7	354,255	2.8	▲ 102,159	▲ 28.8	財政調整基金繰入金+200,000 土地開発基金繰入金▲325,000
◎ 20 繰	越金	477,605	3.3	165,434	1.3	312,171	188.7	繰越金+110,000、繰越財源繰越金+202,171
◎ 21 諸	収入	558,924	3.9	443,417	3.5	115,507	26.0	角田市土地開発公社貸付金回収金+61,000 小・中・大震災に係る災害対策支援金+25,000
22 市	債	1,172,402	8.1	891,726	7.1	280,676	31.5	小・中学校校舎耐震補修事業+339,700、庁舎エレベーター 整備事業+52,500、臨時財政対策債▲139,724
歳入合計		14,445,573	100.0	12,633,722	100.0	1,811,851	14.3	
うち自主財源		4,923,250	34.1	4,616,041	36.5	307,209	6.7	

(◎印 自主財源)

# 平成23年度 一般会計歳出決算前年度比較表

(単位:千円、%)

歳出

区分	平成23年度		平成22年度		比較		摘要
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	
1 議会費	210,586	1.5	160,531	1.4	50,055	31.2	議員報酬・期末手当▲3,179、議員共済会負担金+57,456、委員会管外調査旅費▲1,830
2 総務費	2,165,878	15.9	1,765,803	14.8	400,075	22.7	震災復興基金積立金+132,486、庁舎エネルギー整備事業+74,710、文化会館建設基金積立金+60,783、行政情報システム用子機作成業務委託料+59,745、阿武隈急行災害復旧事業費補助金+35,266
3 民生費	3,295,022	24.1	3,164,801	26.6	130,221	4.1	災害救助費+71,802、子ども手当・児童手当+27,005、生活保護費+30,426、乳幼児医療費助成金+10,360
4 衛生費	1,004,258	7.4	829,211	7.0	175,047	21.1	知事家庭・災害等廃棄物処理業務委託料+114,038、上下水道施設災害復旧費補助金+22,263、子宮頸がん・小児用肺炎球菌・インフルエンザ予防ワクチン接種委託料+33,351
5 労働費	12,794	0.1	13,186	0.1	▲392	▲3.0	婦人研修センター修繕料(屋根)▲129
6 農林業費	744,684	5.5	573,932	4.8	170,752	29.8	塩化カリウム購入費+75,332、農業集落排水事業特別会計繰入金+69,239、農業用施設整備工事費+25,292
7 商工費	320,389	2.3	313,316	2.6	7,073	2.3	企業立地奨励金+17,547、角田市地方卸売市場解体撤去工事費+18,646、コスモハウスエクスコン更新工事費▲12,662、コスモハウス修繕業務委託料▲4,620、株式会社仙南青果出資金▲2,000
8 土木費	1,279,934	9.4	1,075,542	9.0	204,392	19.0	下水道特別会計繰入金+423,193、都市整備基金積立金▲113,937、道路舗装事業▲79,679
9 消防費	506,083	3.7	410,494	3.4	95,589	23.3	仙南広域事務組合負担金+63,280、非常勤消防団員補償報償組合負担金+15,932
10 教育費	1,959,181	14.3	2,001,166	16.8	▲41,985	▲2.1	小・中学校耐震補強等事業▲139,967、陸上競技場改修工事費+45,150、子ども図書館整備事業+16,514、旧佐藤家保存事業+15,040、移動図書館車購入費+13,483
11 災害復旧費	879,811	6.4	28,012	0.2	851,799	3,040.8	公共土木施設災害復旧費+540,150、文教施設災害復旧費+112,728、農林業施設災害復旧費+119,683、その他公共・公用施設災害復旧費+75,509
12 公債費	1,278,682	9.4	1,261,261	10.6	17,421	1.4	定期償還元金+13,664、繰上償還元金+12,784 償還利子▲8,620 一時借入金利子▲207
13 諸支出金	0	0.0	322,590	2.7	▲322,590	皆減	土地開発基金土地買戻し▲322,590
歳出合計	13,657,302	100.0	11,919,845	100.0	1,737,457	14.6	

# 平成23年度 一般会計性質別歳出決算前年度比較表

(単位:千円、%)

区 分	平成23年度		平成22年度		比 較		摘 要
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	
義務的経費							
人件費	5,390,324	39.5	5,230,141	43.9	160,183	3.1	職員共済会負担金+57,456、職員退職手当組合負担金+4,072、職員給料▲17,116、災害救助費職員時間外勤務手当▲19,278、統計調査委員報酬▲9,386
扶助費	1,551,308	11.4	1,436,256	12.0	115,052	8.0	生活保護扶助費+30,426、子ども手当・児童手当+27,005、乳幼児医療費助成金+10,360、児童扶養手当+5,892、災害見舞金+11,050、災害弔慰金+7,500
公債費	1,278,792	9.4	1,261,587	10.6	17,205	1.4	定期償還元金+13,664、繰上償還元金+12,784 償還利子▲8,820 一時借入金利子▲207、基金繰替運用利子▲216
一般行政経費	5,807,876	42.5	4,670,856	39.2	1,137,020	24.3	
物件費	1,741,801	12.8	1,332,562	11.2	409,239	30.7	倒壊家屋・災害等廃棄物処理業務委託料+114,038、塩化カルウム購入費+75,332、行政情報システム用データ作成業務委託料+59,745、庁内情報ネットワークシステム等借上料+38,700、児童館等指定管理料+36,714
維持補修費	205,554	1.5	153,499	1.3	52,055	33.9	災害救助費(住宅応急修理等)+60,287、農道等維持補修費▲3,290、体育施設維持補修費▲2,919
補助費等	1,777,634	13.0	1,694,908	14.2	82,726	4.9	仙南広域組合負担金+69,960、上水道施設災害復旧費補助金+22,263、企業立地奨励金+17,547、非常勤消防団員補償報償組合負担金+15,932
積立金	252,531	1.8	172,791	1.4	79,740	46.1	都市整備基金積立金▲113,937、文化会館建設基金積立金+60,783、震災復興基金積立金+132,486
投資及び出資金・貸付金	177,136	1.3	177,976	1.5	▲840	▲0.5	株式会社仙南青果出資金▲2,000、高野養費貸付金+857、上水道広域化施設整備費出資金+369
繰出金	1,653,220	12.1	1,139,120	9.6	514,100	45.1	公共下水道事業特別会計繰出金+423,193、農業集落排水事業特別会計繰出金+69,239
投資的経費	2,459,102	18.0	2,018,848	16.9	440,254	21.8	
普通建設事業費	1,579,291	11.6	1,990,836	16.7	▲411,545	▲20.7	土地開発基金土地買戻し▲322,590、小・中学校施設耐震補強等事業▲139,967、庁舎エレベーター整備事業+74,710
災害復旧事業費	879,811	6.4	28,012	0.2	851,799	3040.8	公共土木施設災害復旧費+540,150、文藝施設災害復旧費+112,728、農林業施設災害復旧費+119,683、その他公共・公用施設災害復旧費+75,509
歳出合計	13,657,302	100.0	11,919,845	100.0	1,737,457	14.6	



# 平成23年度市税決算前年度比較表

(単位:千円、%)

区分	平成23年度		平成22年度		比較		摘要
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	
1 市民税	1,207,669	36.6	1,282,207	38.5	▲ 74,538	▲ 5.8	
(1) 個人	1,029,613	31.2	1,066,772	32.0	▲ 37,159	▲ 3.5	所得割(▲3,995千円、▲10.0%) 均等割(▲33,164千円、▲3.2%)
(2) 法人	178,056	5.4	215,435	6.5	▲ 37,379	▲ 17.4	法人税割(▲39,270千円、▲26.0%) 均等割(+1,891千円、+2.9%)
2 固定資産税	1,600,943	48.6	1,612,512	48.3	▲ 11,569	▲ 0.7	
(1) 土地	489,860	14.9	493,577	14.8	▲ 3,717	▲ 0.8	土地の下落修正による減
(2) 家屋	746,013	22.6	732,632	22.0	13,381	1.8	新築住宅の増
(3) 償却資産	363,966	11.1	385,195	11.5	▲ 21,229	▲ 5.5	設備投資の減
(4) 交付金及び 納付金	1,104	0.0	1,108	0.0	▲ 4	▲ 0.4	
3 軽自動車税	77,430	2.3	77,515	2.3	▲ 85	▲ 0.1	
4 市たばこ税	230,928	7.0	187,073	5.6	43,855	23.4	販売本数は減少したものの税率引上げによる影響に より増
5 特別土地保有税	0	0.0	0	0.0	0	-	
6 都市計画税	179,962	5.5	178,260	5.3	1,702	1.0	土地(▲0.01%) 家屋(+1.03%)
合計	3,296,932	100.0	3,337,567	100.0	▲ 40,635	▲ 1.2	

東日本大震災に係る災害復旧費等の決算状況

(単位：千円)

●一般会計

事業区分	歳出科目	事業名	平成22年度				平成23年度				平成24年度				
			総計 (イ+ロ+ハ+ニ)		財源		財源		財源		予算額 (三)	平成23年度 からの繰越額 (ハ)			
			決算額 (イ)	国支	県出金	地方債	その他	国支	県出金	地方債			その他		
災害復旧	11-1-1	農業用施設災害復旧事業	85,475	5,523	5,523	56,082	35,686	20,396	14,749	5,647	23,870				
	11-1-2	林業用施設災害復旧事業	11,888	1,852	1,852	7,626	4,274	3,352	1,356	1,996	2,410				
	11-2-1	公共土木施設災害復旧事業	1,122,164	17,702	17,702	526,056	340,716	26,538	158,782	139,939	18,843	423,640			
	11-3-1	民生施設災害復旧事業	1,674	0	0	1,674		1,674	1,582	92	0				
	11-3-2	保健衛生施設災害復旧事業	2,055	0	0	2,055	468	1,587	1,578	9	0				
他団体への補助金	11-4-1	公立学校施設災害復旧事業	58,479	1,654	1,654	56,825	42,711	14,114	9,328	4,786	0				
	11-4-2	公立社会教育施設災害復旧事業 (市民センター解体撤去事業を除く)	196,321	1,072	1,072	55,731	12,122	43,609	7,286	36,323	139,518				
	11-5-1	その他公共施設・公用施設災害復旧事業	75,929	210	210	75,719		75,719	67,452	8,267	0				
	小計 (I)			1,553,985	28,013	28,013	781,748	435,977	0	26,538	319,233	243,270	75,963	589,438	154,786
	阿武隈急行災害復旧費補助金			35,266	0	0	35,266		24,485	10,781	10,781	0	0		
繰出金	4-1-5	仙南地域広域行政事務組合負担金 (あぶくま高苑災害復旧事業分)	3,763	0	0	3,763		3,763	3,763	0	0				
	9-1-1	仙南地域広域行政事務組合負担金 (消防費負担金のうち消防施設災害復旧事業分)	61,071	0	0	61,071		61,071	61,071	0	0				
	9-1-2	宮城県市町村非常勤消防団員補償報償組合負担金 (東日本大震災に係る追加費用分)	15,960	0	0	15,960		15,960	15,960	15,960	0				
	小計 (II)			116,060	0	0	116,060	0	24,485	91,575	75,615	15,960	0	0	
	上水道施設災害復旧費補助金			22,263	0	0	22,263		22,263	2,212	20,051	0			
放線対策	6-1-13	農業排水事業特別会計繰出金 (災害復旧事業費分繰出金)	41,220	2,335	2,335	38,885		38,885	24,520	14,365	0				
	8-5-1	公共下水道事業特別会計繰出金 (災害復旧事業費分繰出金)	752,468	31,311	31,311	391,771		391,771	199,599	192,172	0		329,386		
	小計 (III)			815,961	33,646	33,646	452,919	0	0	452,919	226,331	226,588	0	329,386	
	農作物放射性物質吸収低減対策事業			85,400	0	0	75,332	37,665	37,667	33,898	3,769	10,068			
	6-1-7	平成23年度原券事故農畜産物被害対策つなぎ 資金利子補給金	521	0	0	11		11	11	11	0	0	510		
撤がれ去き	9-1-5	災害対策事業 (放射線対策事業)	457,307	0	0	11,974	4,530	7,444	7,444	7,444	0	445,333			
	小計 (IV)			543,228	0	0	87,317	42,195	0	45,122	33,898	11,224	10,068	445,843	
	4-2-1	災害等廃棄物処理事業	128,080	0	0	114,080	91,434	22,646	22,645	1	0	14,000			
	11-4-2	公立社会教育施設災害復旧事業 (市民センター解体撤去事業)	72,320	0	0	2,520	2,016	504	504	0	69,800				
	小計 (V)			200,400	0	0	116,600	93,450	23,150	23,149	1	69,800	14,000		
被災者支援	2-1-10	定住促進、角田・いたつしやいプラン推進事業 業補助金 (被災者支援分)	15,750	0	0	10,250		4,875	5,375	5,375	500	5,000			
	3-5-1	災害救助事業 (応急仮設住宅改修費、災害見舞金分、宅地災害復旧事業補助金等)	242,799	51,770	45,186	123,571	83,912	5,956	33,703	33,703	1,662	65,796			
	7-1-2	中小企業災害復旧資金利子助成金	452	0	0	162		80	82	82	0	290			
	9-1-5	災害対策事業 (放射線対策事業を除く)	22,104	2,778	80	8,016		2,285	5,731	5,731	0	11,310			
	10-5-5	角田市文化財保護事業補助金	1,329	0	0	829		29	800	800	0	500			
小計 (VI)			282,434	54,548	47,884	142,828	83,912	13,225	45,691	0	45,691	2,162	82,896		
合計 ①			3,512,058	116,207	109,543	1,697,472	655,534	64,248	977,690	602,263	375,427	671,468	1,026,911		

# 東日本大震災に係る災害復旧費等の決算状況

## ●特別会計（公共下水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計）

事業区分	事業名	平成22年度						平成23年度						平成24年度		
		決算額(イ)		財源		内訳		決算額(ロ)		財源		内訳		平成23年度からの繰越額(ハ)	予算額(ニ)	
		支	出	国	県	地方債	一般会計	一般会計	一般会計	一般会計	一般会計	一般会計	一般会計	一般会計	一般会計	一般会計
4-1-1	公共下水道施設災害復旧事業	31,311			31,311						182,662	38,100	670,113	890,875	779,709	1,604,486
4-1-1	農業集落排水施設災害復旧事業	2,335			2,335					22,510	2,800	26,364	51,674	45,200		
	合計②	33,646			33,646	0	0	0	0	205,172	40,900	696,477	942,549	824,909	1,604,486	

※公共下水道事業施設災害復旧事業において、平成23年度からの繰越額779,709千円の財源のうち209,109千円が一般会計繰入金です。

※農業集落排水施設災害復旧事業において、平成23年度からの繰越額45,200千円の財源のうち16,375千円が一般会計繰入金です。

## ●企業会計（水道事業会計）

事業区分	事業名	平成22年度						平成23年度						平成24年度	
		決算額(イ)		財源		内訳		決算額(ロ)		財源		内訳		平成23年度からの繰越額(ハ)	予算額(ニ)
		支	出	国	県	地方債	一般会計	一般会計	一般会計	一般会計	一般会計	一般会計	一般会計	一般会計	一般会計
1-3-1	過年度損益修正損 (上水道施設災害復旧事業)	0								19,403	8,992	8,992	0	0	
1-3-3	臨時損失 (上水道施設災害復旧事業)	8,110			8,110					2,860	3,893	3,893	0	0	
	合計③	8,110			8,110	0	0	0	0	22,263	12,885	12,885	0	0	

事業区分	事業名	平成22年度						平成23年度						平成24年度	
		決算額(イ)		財源		内訳		決算額(ロ)		財源		内訳		平成23年度からの繰越額(ハ)	予算額(ニ)
		支	出	国	県	地方債	一般会計	一般会計	一般会計	一般会計	一般会計	一般会計	一般会計	一般会計	一般会計
	合計①+②+③	157,963	6,584	0	33,726	117,653	2,685,058	1,361,900	40,900	291,683	990,575	602,263	388,312	1,496,377	2,631,397
	合計①+②+③	124,317					2,232,139							1,496,377	2,302,011
	うち公共施設災害復旧費総額(一般会計の小計(Ⅰ)+合計②+③)	69,769					1,769,334							1,414,347	1,759,272

※総計(イ+ロ+ハ+ニ)は、平成22年度と平成23年度の決算額、平成23年度からの繰越額及び平成24年度の8月補正後の現計予算額の合算額になります。

※「合計(①+②+③) - 一般会計の小計(Ⅲ)」は、会計間の繰入繰出の重複計上分を除いたものになります。

※一般会計の「財源内訳」の「その他」のうち震災復興基金繰入金を充当しているのは、阿武隈急行災害復旧費補助金24,485千円、定住促進、角田・いらっしやいプラン推進事業補助金(被災者支援分)4,875千円、災害救助事業5,956千円のうち5,665千円、中小企業災害復旧資金助成金80千円、角田市文化財保護事業補助金29千円であり、総額で35,134千円です。なお、定住促進、角田・いらっしやいプラン推進事業補助金(被災者支援分)において、平成23年度からの繰越額のうち500千円は、震災復興基金繰入金(既取特定財源)です。

※平成23年度震災復興特別交付税交付決定額は814,756千円であり、合計(①+②+③)の震災復興特別交付税602,263千円との差額は、災害関係経費以外(デジタル無縁整備事業等)の事業及び市税等の減免・減収分(36,899千円)の未計上、及び公共土木施設災害復旧事業、公共下水道事業繰入金等の平成23年度からの繰越額の財源となっています。

# 平成23年度 都市計画税充当説明資料

(単位:千円)

区分	一般会計 歳出科目	決算額	財源内訳				一般財源のうち都市計画税充当額 ②	その他一般財源充当額 ①-②
			国県支出金	地方債	その他	一般財源 ①		
街路	-					0		
公園	-					0		
下水道 (公共下水道事業特別会計 繰出金のうち建設費充当額)	8-5-1	0				0		
都市計画事業		0	0	0	0	0		
土地区画整理事業	-					0		
街路	-					0		
公園	12-1-1 12-1-2	65,942				65,942		
下水道 (公共下水道事業特別会計 繰出金のうち公債費充当額)	8-5-1	467,819				467,819		
土地区画整理事業	12-1-1 12-1-2	24,340				24,340		
過去の都市計画事業等に 係る地方債の元利償還費		558,101	0	0	0	558,101		
合計		558,101	0	0	0	558,101	378,139	

※平成23年度は都市計画事業及び土地区画整理事業はなかつたので、都市計画税は過去に実施した公園整備事業、下水道事業、土地区画整理事業の公債費(地方債の元利償還金)に充てられている。

# 平成23年度各種基金の状況

(単位：千円)

基金名	平成23年度中の増減額				平成23年度末 現在高	平成24年度中の増減見込額				平成24年度末 現在高見込額
	積立額		取崩額	前年度決算 剰余金処分 による積立		積立額		取崩額 (9月補正後見込)	前年度決算 剰余金処分 による積立	
	一般財源等	利子				一般財源等	利子			
財政調整基金	7,515	1,048	200,000	236,272	1,727,546	341	550,235	201,743	1,379,395	
減債基金		72			120,429	37			120,466	
その他特定目的基金	132,486	411	51,784	806,056	806,056	263	88,898		717,421	
明日を拓く人材育成基金		57	850		114,001	35	4,600		109,436	
文化会館建設基金	(111,000)	191		(111,000)	360,277 (165,000)	109 (50,000)			360,386 (115,000)	
震災復興基金	132,486		35,634	132,486	96,852	29	77,298		19,583	
長寿社会対策基金		8	9,700		1,668	10			1,678	
21世紀の田園文化創造基金		3			7,853	10			7,863	
農業振興基金		27	1,100		28,062	10	1,200		26,872	
都市整備基金		67			118,554	36			118,590	
スポーツ振興基金		58	4,500		78,789	24	5,800		73,013	
合 計	140,001	1,531	251,784	236,272	2,654,031	641	639,133	201,743	2,217,282	

基金名	平成23年度中の増減額				平成23年度末 現在高	平成24年度中の増減見込額				平成24年度末 現在高見込額
	積立額		取崩額	前年度決算 剰余金処分 による積立		積立額		取崩額 (9月補正後見込)	前年度決算 剰余金処分 による積立	
	一般財源等	利子				一般財源等	利子			
国民健康保険事業財政調整基金		108	108	53,593	203,030	61	6,589	104,651	301,153	
介護保険事業財政調整基金		214			118,331	36	27	6,202	138,838	
東根財産区財産造成基金	4,867	1			7,076	10	1,303	201	5,984	

※ 定額運用基金は除く。  
 ※ H24年度の積立額及び取崩額は、9月補正後見込の基金繰入金の予算額。  
 ※ 文化会館建設基金の( )は、一般会計における角田市土地開発公社への貸付金に係るもの。

# 平成23年度各種会計地方債の状況

単位：千円

会計区分	地方債区分	平成22年度末 現在高	平成23年度中増減額		平成23年度末 現在高	平成24年度中増減見込額 (平成23年度繰越分含む)(9月補正後見込)		平成24年度末 現在高見込額
			起債額	元金償還額		起債見込額	元金償還見込額	
一般会計	1. 普通債	【982】 5,966,968	596,100	【982】 785,383	5,777,685	523,800	804,477	5,497,008
	2. 災害復旧債	192,306	10,600	58,971	143,935	46,300	24,716	165,519
	3. 減税補てん債	534,889		81,721	453,168		82,777	370,391
	4. 税収補てん債	99,263		13,348	85,915		13,616	72,299
	5. 臨時財政対策債	3,714,934	565,702	166,194	4,114,442	584,000	183,192	4,515,250
	小計	【982】 10,508,360	1,172,402	【982】 1,105,617	10,575,145	1,154,100	1,108,778	10,620,467
特別会計	1. 公共下水道事業債	【53,876】 8,462,342	18,300	【4,868】 429,405	【49,008】 8,051,237	89,200	【5,133】 440,704	【43,875】 7,699,733
	2. 流域下水道事業債	549,629	38,700	79,752	508,577	8,600	50,772	466,405
	3. 資本費平準化債	1,720,974	309,400	136,326	1,894,048	319,600	145,396	2,068,252
	4. 下水道事業特例債	341,052	71,400	7,922	404,530	70,800	14,120	461,210
	5. 高資本費対策借換債	329,773		47,788	281,985		45,568	236,417
	6. 災害復旧債		38,100		38,100	71,100		109,200
	小計	【53,876】 11,403,770	475,900	【4,868】 701,193	【49,008】 11,178,477	559,300	【5,133】 696,560	【43,875】 11,041,217
農業集落排水事業	1. 農業集落排水事業債	789,269	2,100	35,293	756,076		36,061	720,015
	2. 資本費平準化債	110,944	23,400	7,590	126,754	24,000	9,242	141,512
	3. 災害復旧債		2,800		2,800			2,800
	小計	900,213	28,300	42,883	885,630	24,000	45,303	864,327
水道事業	1. 企業債	1,514,426		157,158	1,357,268		159,370	1,197,898
	合計	【54,858】 24,326,769	1,676,602	【5,850】 2,006,851	【49,008】 23,996,520	1,737,400	【5,133】 2,010,011	【43,875】 23,723,909

※貸付利率5.0%以上の地方債現在高は、【 】で内書きしています。なお、平成23年度末現在高見込額のうち貸付利率が5.5%を超えるものはありません。

## 平成23年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率

### 1. 健全化判断比率 [財政の早期健全化・再生に関する判断比率]

- 早期健全化基準を超える場合：自主的な改善努力による財政健全化（財政健全化計画の策定（議会の議決）、外部監査の義務付け）
- 財政再生基準を超える場合：国等の関与による確実な再生（財政再生計画の策定（議会の議決）、外部監査の義務付け、地方債の起債の制限）

	説 明	平成23年度決算に基づく比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	「一般会計等」を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率	—	13.78%	20.00%
連結実質赤字比率	「全会計」を対象とした実質赤字（又は資金の不足額）の標準財政規模に対する比率	—	18.78%	30.00%
実質公債費比率	「一般会計等」が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率	10.9%	25.0%	35.0%
将来負担比率	「一般会計等」が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率	67.7%	350.0%	—

※「一般会計等」・・・角田市の場合は一一般会計のみ対象

※「全会計」……………角田市の場合には東根財産区特別会計を除く

### 2. 資金不足比率 [公営企業の経営健全化に関する判断比率]

- 経営健全化基準を超える場合：経営健全化計画の策定（議会の議決）、外部監査の義務付け

	説 明	会計区分	平成23年度決算に基づく比率	経営健全化基準
資金不足比率	公営企業ごとの資金の不足額の事業の規模に対する比率	水道事業会計	—	20.0%
		公共下水道事業特別会計	—	
		農業集落排水事業特別会計	—	

健全化判断比率等の概要について

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}} \quad (\text{なし})$$

○ 一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率（平成23年度決算では実質赤字額はなし）

・ 実質赤字額 = 繰上充用額 + (支払繰延額 + 事業繰越額)

繰上充用額：歳入不足のため、翌年度歳入を繰り上げて充用した額

支払繰延額：実質上歳入不足のため、支払を翌年度に繰り延べた額

事業繰越額：実質上歳入不足のため、事業を繰り越した額

・ 標準財政規模（標準的な状態で通常収入されると見込まれる経常一般財源の額）

$$= \text{標準税収入額等 (3,628,504 千円)} + \text{普通交付税 (3,694,302 千円)} + \text{臨時財政対策債発行可能額 (565,702 千円)}$$

$$= 7,888,508 \text{ 千円}$$

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額} \{ (A + B) - (C + D) \}}{\text{標準財政規模}} \quad (\text{なし})$$

○ 全会計を対象とした実質赤字額（又は資金の不足額）の標準財政規模に対する比率

（平成23年度決算では実質赤字額又は資金の不足額を生じた会計はなし）

A：一般会計及び公営企業（地方公営企業法適用企業・非適用企業）以外の特別会計のうち、実質赤字を生じた会計の実質赤字の合計額

B：公営企業の特別会計のうち、資金の不足額を生じた会計の資金の不足額の合計額

C：一般会計及び公営企業以外の特別会計のうち、実質黒字を生じた会計の実質黒字の合計額

D：公営企業の特別会計のうち、資金の剰余額を生じた会計の資金の剰余額の合計額



$$\text{実質公債費比率} = \frac{(\text{地方債の元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})} \times 100$$

の3ヶ年平均

○ 一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率

- ・ 地方債の元利償還金：1,265,898千円
- ・ 準元利償還金 (①～⑤の合計額)：732,980千円
- ① 満期一括償還地方債について、償還期間を30年とする元金均等年賦償還をした場合の1年当たりの元金償還金相当額 (なし)
- ② 一般会計等から一般会計等以外の特別会計への繰出金のうち公営企業債の償還に充てたと認められるもの (477,420千円)
- ③ 組合への負担金・補助金のうち、組合が起こした地方債の償還の財源に充てたと認められるもの (148,870千円)
- ④ 債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるもの (106,690千円)
- ⑤ 一時借入金の利子 (なし)
- ・ 特定財源 (住宅使用料、都市計画税等)：125,381千円
- ・ 元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額：1,074,965千円

※ 平成23年度の単年度の実質公債費比率は、上記の算式により11.71978になるが、平成21、22年度の単年度の比率はそれぞれ11.12819、10.08777となっているので、3ヶ年平均は10.9になる。

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - (\text{充当可能基金額} + \text{特定財源見込額} + \text{地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})} \times 100$$

- 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率
  - ・将来負担額 (①～⑧の合計額) : 24, 013, 909 千円
  - ① 一般会計等の地方債現在高 (10, 575, 145 千円)
  - ② 債務負担行為に基づく支出予定額 (地方財政法第5条各号の経費等に係るもの) (105, 385 千円)
  - ③ 一般会計等以外の会計の地方債の元金償還に充てる一般会計等からの繰出見込額 (9, 126, 798 千円)
  - ④ 当該団体が加入する組合等の地方債の元金償還に充てる当該団体からの負担等見込額 (1, 756, 318 千円)
  - ⑤ 退職手当支給予定額 (全職員に対する期末要支給額) のうち、一般会計等の負担見込額 (2, 450, 263 千円)
  - ⑥ 地方公共団体が設立した一定の法人の負債の額、その者のために債務を負担している場合の当該債務の額のうち、当該法人等の財務・経営状況を勘案した一般会計等の負担見込額及び公的信用保証に係る損失補償見込額 (なし)
  - ⑦ 連結実質赤字額 (なし)
  - ⑧ 組合等の連結実質赤字額相当額のうち一般会計等の負担見込額 (なし)
- ・ 充当可能基金額 : 2, 860, 970 千円
- ・ 特定財源見込額 (住宅使用料、都市計画税等) : 2, 508, 436 千円
- ・ 地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額 : 14, 029, 394 千円
- ・ 元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額 : 1, 074, 965 千円

資金不足比率 = $\frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$ (なし)
---

- 公営企業ごとの資金の不足額の事業の規模に対する比率  
 (平成23年度決算では、いずれの会計も資金の不足額はなし)
- 資金の不足額 : 一般会計等の実質赤字に相当するものとして公営企業会計ごとに算定した額
- 事業の規模 : 料金収入など主たる営業活動から生じる収益等に相当する額

健全化判断比率及び資金不足比率に関する会計区分等

一般会計等	1 ① 一般会計 ○		実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
	1 ② 一般会計等に属する特別会計	公債管理 母子寡婦福祉資金貸付 勤労者福祉共済 その他事業				
公営事業会計	2 一般会計等以外の特別会計のうち公営企業に係る特別会計以外の特別会計		① 国民健康保険 ○	資金不足比率(会計ごとに算定)		
			② 介護保険 ○			
			③ 後期高齢者医療 ○			
			④ 農業共済			
			⑤ 老人保健医療			
			⑥ 介護サービス			
			⑦ 駐車場			
			⑧ 交通災害共済			
			⑨ 公営競技			
			⑩ 公立大学付属病院			
			⑪ 有料道路			
公営企業会計	3 公営企業に係る会計 (地公企法を適用する事業又は地財令第37条の事業)	法適用企業	① 水道事業 ○	資金不足比率(会計ごとに算定)		
			③ 工業用水道			
			④ 軌道			
			④ 自動車運送			
			④ 鉄道			
			⑤ 電気			
		法非適用企業	⑥ ガス			
			⑧ 病院			
			⑭ その他法適用事業			
			② 簡易水道			
			④ 船舶運行			
			⑦ 港湾整備			
			⑨ 市場			
⑩ と畜場						
⑪ 宅地造成						
⑫ 下水道(農集排含む) ○						
⑬ 観光施設						
一部事務組合・広域連合	宮城県市町村職員退職手当組合 ○	資金不足比率(会計ごとに算定)				
	仙南地域広域行政事務組合 ○					
	宮城県市町村自治振興センター ○					
	宮城県後期高齢者医療広域連合 ○					
	大河原町外1市2町保健医療組合 ○					
	宮城県市町村非常勤消防団員補償報償組合 ○					
地方公社・第三セクター等	角田市土地開発公社 ○	資金不足比率(会計ごとに算定)				

※○は、角田市の健全化判断比率及び資金不足比率に関係する会計区分等です。

## 平成 23 年度 普通会計決算状況分析主要指標

角田市における主要指標の推移(10ヶ年)

項目 年度	財政 指数	実質収支 比率	経常一般 財源比率	経常収支 比率	義務的経費 比率	投資的経費 比率	起債制限 率	財調 現在高比率	積立金 現在高比率	地方債 現在高比率	実質赤字 率	連結実質 赤字比率	実質公債費 率	将来負担 率
14	0.471	4.0	98.0	89.8	44.6	12.3	11.2	12.8	25.8	146.7				
15	0.484	4.9	99.0	88.8	46.9	7.8	10.6	15.3	28.4	149.8				
16	0.485	6.9	101.1	89.8	44.9	7.6	10.1	17.9	30.2	145.3				
17	0.482	5.8	102.9	90.7	46.4	10.4	9.4	21.1	32.9	138.6			18.6	
18	0.498	5.5	100.4	93.8	46.0	11.0	9.0	20.3	31.2	138.2			17.4	
19	0.526	3.9	97.1	95.1	44.7	11.0	8.5	19.5	30.4	143.0	-	-	12.5	147.6
20	0.539	4.0	94.8	94.0	43.1	16.5	8.6	18.2	28.2	141.2	-	-	11.6	107.2
21	0.521	2.9	94.7	91.6	41.7	9.5	8.9	20.3	30.0	135.3	-	-	10.7	83.8
22	0.482	5.7	93.4	87.9	43.1	16.1		21.0	31.5	129.2	-	-	10.9	68.1
23	0.454	5.1	94.9	91.6	38.7	17.3		21.9	33.6	116.3	-	-	10.9	67.7

※1 実質赤字比率及び連結赤字比率は、いずれも赤字でないことから「-」と表記しております。

## ～普通会計決算状況分析主要指標の見方～

1. 財政力指数……基準財政収入額/基準財政需要額で表され、この数値が1に近く、あるいは超える程財政力が強いとみることができる。3ヶ年平均の数値。  
 (算式)  $(\text{基準財政収入額} / \text{基準財政需要額}) \times 100$
2. 実質収支比率……標準財政規模に対する実質収支の割合である。通常この比率は経験的にみて3～5%程度が望ましいとされている。  
 (算式)  $(\text{実質収支額} / \text{標準財政規模}) \times 100$
3. 経常一般財源比率……毎年度経常的に収入され、かつ自由にその用途を決定することのできる財源の標準財政規模に対する割合である。この比率が高い程財政運営は弾力的であるといえる。  
 (算式)  $(\text{経常一般財源収入額} / \text{標準財政規模}) \times 100$
4. 経常収支比率……財政構造の弾力性をみるうえで最も重要な比率であり、人件費、扶助費、公債費等のように容易に縮減することのできない経常的経費に、市税、普通交付税等を中心とする経常的な一般財源がどの程度充当されているかを測定しようとするものである。  
 (算式)  $(\text{歳出総額のうち経常的経費に充当した一般財源} / \text{歳入総額のうち広義の経常的一般財源}) \times 100$
5. 義務的経費比率……歳出総額に対する義務的経費の割合である。  
 (算式)  $(\text{人件費} + \text{扶助費} + \text{公債費}) / \text{歳出総額} \times 100$
6. 投資的経費比率……歳出総額に対する投資的経費の割合である。  
 (算式)  $(\text{普通建設事業費} + \text{災害復旧事業費} + \text{失業対策事業費}) / \text{歳出総額} \times 100$
7. 起債制限比率……平成17年度までの地方債の許可制限に係る指標であり、算式による過去3ヶ年の平均をいう。原則として、この比率が20%以上になると一部の起債が許可されず、30%以上になると一般事業債が許可されなくなっていた。(平成18年度より起債協議制への移行に伴い実質公債費比率を用いることとなった。)  
 (算式)  $[(\text{公債費充当一般財源等額(繰上償還等を除く)} + \text{債務負担行為の財源の一般財源等のうちPFI事業における債務負担行為に係るもの} - \text{災害復旧費等に係る基準財政需要額} - \text{事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費}) / (\text{標準財政規模} + \text{臨時財政対策債発行可能額} - \text{災害復旧費等に係る基準財政需要額} - \text{事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費})] \times 100$

8. 財調現在高比率・積立金現在高比率……標準財政規模に対する財政調整基金・積立金(財政調整基金+減債基金+特定目的基金)現在高の割合である。この比率が高い程将来に対する蓄えが大きいといえる。  
 (算式)  $(\text{財政調整基金年度末現在高} / \text{標準財政規模}) \times 100$   
 (積立金年度末現在高/標準財政規模)  $\times 100$

9. 地方債現在高比率……歳入一般財源に対する地方債現在高の割合である。  
 (算式)  $(\text{地方債年度末現在高} / \text{狭義の一般財源}) \times 100$

10. 実質赤字・連結赤字比率……一般会計等(連結赤字比率・特別会計等の全会計を含む)を対象とした実質赤字(連結赤字比率:実質赤字又は資金不足額)の標準財政規模に対する比率。  
 (算式)  $(\text{連結赤字比率} + \text{一般会計等(連結赤字比率・特別会計等の全会計を含む)の全会計を含む)の標準財政規模に対する比率}$

11. 実質公債費比率……一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率(以前の地方債発行の指標であった「起債制限比率」から、平成18年度以降下水道など公営企業債の返済に充てられた繰出金なども債務として算定し、この比率が18%以上になると地方債の発行は協議制ではなく、これまでと同じ許可制となる。3ヶ年平均の数値。)  
 (算式)  $(\text{一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率}) / \text{標準財政規模}$

12. 将来負担比率……一般会計等において、今後、将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合である。  
 (算式)  $(\text{一般会計等において、今後、将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合}) / \text{標準財政規模}$

- 【注】 標準財政収入額等……(基準財政収入額-地方譲与税-交通安全対策特別交付金-児童手当及び子ども手当特別交付金-市民税所得割における税源移譲相当額の25%)  $\times 100 / 75 + \text{地方譲与税} + \text{交通安全対策特別交付金} + \text{児童手当及び子ども手当特別交付金}$  【H23:3,628,504千円】
- 標準財政規模……その地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常的一般財源の規模をいう。(標準財政収入額等+普通交付税額+臨時財政対策債発行可能額)
- 【H23:7,888,508千円】

狭義の一般財源……市町村税(目的税、交付金を含む)、地方譲与税、地方消費税交付金、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方交付税、ゴルフ場利用税交付金、国有提供施設等所在市町村助成交付金、自動車取得税交付金、交通安全対策特別交付金、地方特別交付金の合算額。  
 【H23:9,090,422千円】

広義の一般財源……上記に掲げるもののほか、国庫支出金、県支出金のうち指定事業にかかると高率補助金、災害復旧事業の施越事業に係るもの、伝染病対策に係る補助金等で過年度分の精算に係る額(ただし、生活保護費国庫負担金等のように毎年同じように繰返し精算されるものは除く。)、使用料、手数料のうち必要経費を超過する場合の超過額、寄附金、財産収入、繰入金、諸収入のうち使途が特定されないもの。繰越金のうち純繰越金。地方債のうち施越事業に係る災害復旧事業債、臨時財政対策債等。  
 【H23:10,189,528千円】